



図1.12 パックバイオデータのイメージとQC指標

(a) CLRモードで得られたポリメラーゼリードの例。ポリメラーゼリードごとの最も長いサブリードを斜線で、アダプター配列を灰色で、そしてそれ以外のサブリードを白抜きで示した。(b) PSR計算のイメージ。分母はサブリードの総塩基数、分子はポリメラーゼリードごとに得られる最も長いサブリードの総塩基数である。(c) アセンブリ結果の評価指標であるN50計算の実例。サブリードを長いものから順に左から配置し、サブリードの総塩基数を100%とした場合、「全サブリードの総塩基数が50%に達したときのサブリードの長さ」がN50である。この場合はN50 = 3000である。